

新チーム初の試合

あっぱれ

第10号

編集・発行
顧問 中村 悠太

新チームになり初の試合を行いました。天候等の関係でなかなか行えずにいました。たがようやく新チームとしての一歩を踏み出すことができました。結果は惜しくも負けましたが短い時間で準備したことをしっかりと出すことができました。新チームのメンバーは「全員野球」一心同体です。今のみなさんに合っていると感じます。勢いが付くと爆発的な力を出すチームカラーに「考えて野球をする」という知性も加わり少ない人数の中でそれぞれが役割を意識し野球に取り組むことができています。

フォーメーション理論をベースに打撃練習に時間をかけました。練習から意識をして打っているのが良く伝わってきます。中学校から野球を始めた選手たちも試合で初ヒットを打つことができました。練習の成果が出ています。S、Y、T、おめでとう。これから数え切れないくらい打ってください。新キャプテンのYにもランニングホームランが出ました。アウトコースをとてもうまく裁きました。思わず私もベンチから立ち上がり喜んでしまいました。試合こそ負けましたが、先発のHも暑い中、最後まで

で粘り強く投げ切りました。チームとしてさらに経験を積み、目標である都大会出場を目指しましょう。さて、選手諸君。ここからは課題です。過度な緊張こそしているようには見えませんが、守備、攻撃問わず一球一球に全身全霊を注ぐことはできませんでしたでしょうか。チームの決まりごととはできたでしょうか。都大会に行くに当たり前のことを当たり前にやるということですね。技術面の話ではありません。しっかりと鍛えていきましょう。新チームになっても「このチームは強くなる」と思っています。下にまとめておいたのでもう一度確認しておいてください。

良かった点

- ・スライディング技術の向上（体操の効果）
- ・バットスイングが綺麗
- ・5回を通して集中力が続けた
- ・アウトカウントや予測の声など、会話をする機会が増えた
- ・打席を楽しんでいる選手、打てなくて悔しがっている選手が増えた（YM、TA、HM、FD、YH）
- ・カットプレー
- ・キャッチボール
- ・バッテリーの動きと精神力の強さ
- ・フライ捕球
- ・大量失点が無かった

改善点

- ・左ピッチャーの盗塁の決まりができなかった
- ・盗塁のサイン実行ができなかった
- ・どこへ飛んだか、どこへ投げるのかをプレーが終わるまで言えなかった
- ・カットプレー時の暴投からの失点
- ・変化球にこだわってしまったリード
- ・コーチャーの決まりごとの不徹底
- ・第2リード後、フライが上がった際に止まることができなかった
- ・流れを感じる事ができなかった

全体的には○ 次は連戦からの公式戦 頑張ろう！！